

# 総合的な学習の時間

## 令和8年度 授業改善のポイント

- 1 探究的な学習を実現するために、探究の過程（①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現）が発展的に繰り返されるよう単元を構成する。
- 2 探究的な学習の質を高めるために、他者と協働して課題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動を設定する。

### 探究的な学習の質を高める指導の工夫

#### 【指導事例】「『もったいない運動』に取り組もう」（小学校第4学年）

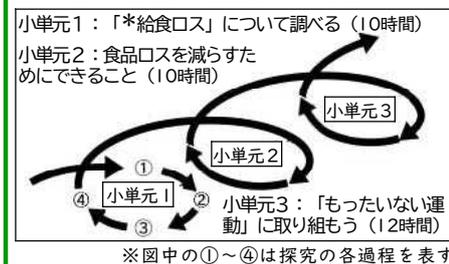
単元の目標：食品ロスの問題について調べたり考えたりする活動を通して、食を提供する方の願いや思い、自分たちの生活が環境に与える影響などに気付くとともに、持続可能な社会を実現するために自分たちができることを考え、課題を積極的に解決しようと行動できるようにする。

#### 小单元1：「\*給食ロス」について調べる

- ①給食の残食の様子を基に、課題を設定する。
  - ②「\*給食ロス」を減らすために、児童が選んだ方法で情報を収集する。
  - ③情報を可視化し、整理・分析する。
  - ④課題の解決に向けた取組を提案する。
- \*給食における食品ロスのこと



**ポイント1** 各小单元が、探究の過程を通して展開され発展的につながるように単元を構想します。



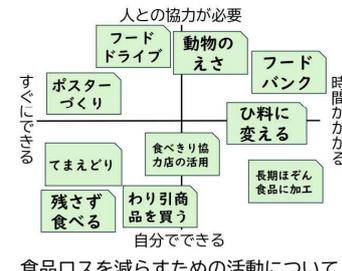
#### 小单元2：食品ロスを減らすためにできること

地域に目を向けることで、食品ロス問題の実態を理解したり、地域の方の努力や工夫に気付いたりするなど、単元を発展的につなげることが考えられます。



#### 小单元3：「もったいない運動」に取り組もう

##### 【①課題の設定】（2時間）



これまでの学習を基に、「もったいない運動」としてどんな活動ができそうですか。

一人一人が、すぐに取り組めることをまとめて、ポスターにするのはどうですか？

全校のみんなと取り組みたいです。家庭で余っている食品を集めて、フードドライブに取り組むのはどうかな？

どちらの考えもいいですね！ただ集めるだけにならないように、集める目的と一人一人ができることをポスターにまとめて、全校に知らせましょう。

**ポイント2** 物事を具体的に決めるための話し合いや意見交換を行うことで、収集した情報を比較したり、関連付けたりして考えることにつながります。このような場面では、異なる視点からの意見交換が行われるようにすることで、互いの考えが深まります。

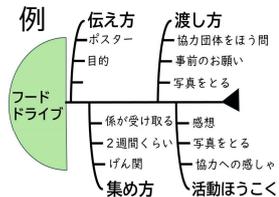
##### 【②情報の収集】（4時間）

目的や役割を明確にすることで、児童が自覚的に情報の収集を行おうとする態度につながります。

<本单元における役割分担例>  
協力団体への依頼、フードドライブ実施店へのインタビュー、ポスター作成

##### 【③整理・分析】（4時間）

収集した情報を整理したり分析したりして思考する活動を、適切に設定することが大切です。効果的な方法として思考を可視化する思考ツールの活用が考えられます。



##### 【④まとめ・表現】（2時間）

単元全体を通して、自分自身の中で変化したことや気が付いたことについて振り返りを記入してください。

- <振り返りの記入例>
- S1：家族と買い物に行ったときには、割引商品を買うことや手前取りなどを意識するようになりました。
- S2：自分たちの考えが全校に伝わって、協力してもらえたことが嬉しかったし、食品ロスを減らしたいです。

**重要** 総合的な学習の時間では、「探究的な学習のよさを理解すること」が求められます。児童生徒自身の行動の変容や学習対象に対する認識の高まり、学習したことと生活とのつながりなどの視点で単元を振り返ることが大切です。

※総合的な学習の時間に係る計画の考え方や思考ツールの具体例など、優れた実践事例を見ることができます。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/sougou/main14\\_a2.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.html)



「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」  
(文部科学省)